

UTCP 講演会

医学における民衆的 合理性への接近と近代化

脾肝薬王圓能書兼育児書『小児養育金礎』諸版の変化を手がかりに

6月25日(金曜日) 17:00-19:00

東京大学駒場キャンパス 18号館コラボレーションルーム2

講演者:

梶谷真司

(東京大学総合文化研究科／比較文化・比較文学／准教授)

コメンテーター:

田野尻哲郎

(東京大学大学院総合文化研究科／科学史・科学哲学／博士課程)

梶谷さんは、ハイデガーやH・シュミッツなどドイツ現象学の研究の専門家でいらっしゃいますが、最近、江戸時代から近代へかけての日本における医学史に関心を寄せられ、集中的に研究をされてこられました。今回は、最近の研究成果に基づいたお話をいただく予定です。

東京大学グローバルCOE「共生のための国際哲学教育研究センター」(UTCP)

<http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/>

University
of Tokyo
UTCP
Center
for Philosophy